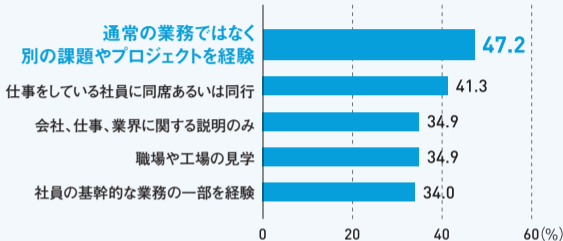


● 大学生・大学院生のインターンシップの内容



約半数が課題解決型の内容を経験

2017年卒の大学生・大学院生のインターンシップ参加率は43.7%で、4年前の2倍以上に増加した。参加者の半数近くは新規事業立案や売上アップ施策提案などの「通常業務ではなく別の課題やプロジェクト」に参加。仕事内容の具体的な確認や自分のスキルの見極めなどにつながっている。

リクルートキャリア 就職みらい研究所「就職白書2017」

※インターンシップ参加者における割合／複数回答／上位5項目のみ掲載